

匠の街春日部かわら版

発行 株式会社コーワ
編集 共栄大学発ベンチャー
旬かひひゃごっこ

「ぶらり散歩」-25- 近代洋画の旗手斎藤与里記念公園



斎藤与里は、本名を与里治と云って、中学時代に京都に移り、浅井忠鹿子木孟郎らに師事し、絵の勉強をした。同門には、梅原龍三郎、安井曾太郎

セザンヌやゴッホの影響をうけ、岸田劉生や高村光太郎らとともに新美術運動を展開し、近代絵画史に大きな役割を果たした斎藤与里(さいとうより)さんの生誕地をぶらり散歩してきました。



与里さんの生誕地は、埼玉県加須市下樋遣川にあり、現在は公園として保存されています。老朽化したこの家で残念ながら取り壊されましたが、当時の門や青々と茂る大きな森から当時が偲ばれます。

本名は、齋藤與里治(よしのじ)。洋画家。セザンヌやゴッホの影響を受けた与里さんは、岸田劉生や高村光太郎らとともに新美術運動を展開し、近代絵画史に大きな役割を果たしました。かつて与里さんが幼少期と晩年を過ごしたこの生家の屋敷は、取り壊されて門のみ修復され、残されています。公園内は池やあずま屋や当時の屋敷林などあり、憩いの場になっています。

明治38年(1905)京都に出て、浅井忠氏、鹿子木孟郎氏に師事。明治38年(1906)から2年間、鹿子木孟郎とともにパリに留学、帰国後は、文筆活動を積極的に行い、「白樺」などで「ゴッホ、セザンヌ、ゴーギャン」などの後期印象派を初めて日本に紹介すべく活動しています。彼の地での出会い親友となった彫刻家の萩原守衛(碌山)らと中村屋に集い、「中村屋サロン」を形成。また、パリで得た芸術観を日本に発表すべく、美術雑誌に執筆するほか、大正元年(1912)には岸田劉生、萬鉄五郎、高村光太郎らと「アカデミズムのフユウザン」を結成し、展覧会を開催、日本近代洋画界に衝撃を与えました。

令和5年度 斎藤与里展
パストラルかぞ展示室
令和6年3月20日(祝・水)~3月25日(月)
9時~16時30分(25日は15時まで)
入場料:無料
内容:修復絵画「菊」「聖母マリア」「大阪美術学校二子」
「自画像」他、合計15点の展示
「教育探訪」斎藤与里の「パストラル」切手販売
「加須の偉人斎藤与里」一般公開
主催:加須市教育委員会
問合せ:加須市教育委員会 TEL.0480-62-1223

学(前身)の創立に参加しました。また、美術団体の槐樹社結成に参加し、機関誌「美術新論」の主幹として活躍。同社解散後は、昭和7年(1932)東光会を組織し、会頭となるなど画家として、評論家として明治末から大正期の近代洋画の進展に大きな役割を果たしました。

「歴史を歩く」第一三八話 浅井長政の山谷(おたじ)城

戦国時代の悲劇の城といえは、織田信長と戦った戦国武将浅井長政の居城小谷城が思い浮かびます。昨年のNHK大河ドラマ「どうする家康」にも登場しましたが、これまで何度か映画やTVドラマで採り上げられました。城主長政が信長の妹で戦国一の美女と噂された妻お市の方と子供三姉妹(茶々、初、江)を信長のもとに逃して自刃し、城が炎上する場面をご覧になった方も多いことでしょう。

小谷城跡は、滋賀県長浜市の北方約十キロの小谷山(標高四九五M)にあります。戦国時代末期に約五〇年にわたり北近江を支配した浅井氏三代の本拠地で、湖北平野のほぼ中央に位置し、北国街道と琵琶湖に近く政治、軍事の重要な拠点でした。

以前、彦根で全国城サミットが開催された折りに、先月号で採り上げた「石田三成の佐和山城」とともに「小谷城の探訪ツアー」があり、地元郷土史家の案内を得て参加しました。観光地になつていないものの、必要以上には整備されておらず、昔のままの自然の中に城の遺構が残っています。比較的緩やかな登山道を登っていくと、番所跡や家来の屋敷跡があり、本丸への途中の桜の馬場と名付けられた平坦地からは、眼下に広がる琵琶湖や湖北の地を一望することが出来ます。

「筆者紹介」内藤敬雄
共栄大学客員教授(初任)、
中央学院常務理事、松本
教育総合研究所理事、全国歴史
研究会委員、都市銀行で国際金
融に携わり、シンクタンクのエ
コノミストを経て、大学教授に
転身。専門は国際経済・金融
史。中学以来、「趣味は歴史」で、
現在も歴史探訪とエッセイ執筆
を続ける。

時にはここにあった屋敷に暮らしていたと推定されています。この奥には小さな本丸跡が石垣と土塁で囲まれて残っています。平時における城主と家臣の屋敷は山麓の清水谷にあり、現在そこには浅井氏三代の事蹟を展示した小谷城戦国歴史資料館が開館しています。浅井氏が滅亡後、小谷城は羽柴秀吉に与えられましたが、秀吉は新たに琵琶湖畔に長浜城を築いたために、小谷城は廃城となりました。



小谷城のあった小谷山遠景

3月号 Vol.303
2024年3月20日 (水)

発行所: (株) コーワ
発行者: 広地 進
制作・編集: (有) かいしゃごっこ
発行日: 毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌

ASA 春日部

〒344-0055
春日部市八木崎町 1-19
☎0120-86-1637 FAX:048-761-0044
http://www.asa-kowa.com



コーワ春日部ミルクセンター

TEL:048-753-1800 FAX:048-761-3036

漢字ぐるぐるパズル

漢字ぐるぐるパズル◇リストの漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

正解の方に抽選でプレゼント致します!
(希望商品を2つまで書いてください)

- ① 朝日新聞 天声人語書き写しノート 5名様
- ② 森永絹ごし(こ)心(常温保存可) 10名様
- ③ 森永充実野菜(常温保存可)3本 5名様
- ④ 森永まろやか黒酢(黒糖&りんご味)3本 5名様

会感期迎産生地入力
温間気空国水大日満
円学観金行新送同文
運外歓給減市税通付量

一	年	命	加		
	勤	時	接	収	
	都	街	下	業	立
	想	光	心	学	立
		雷	開	曜	
	待	和			
	区	政	代	転	
	学	知	故	元	

難易度 ★★☆☆ (中級)

先月号の答えは『開花予想』でした。クイズ応募者46名様で、44名の方が正解でした。

春	告	鳥	小	屋	台	骨	格
品	衛	生	放	送	信	機	安
食	写	真	正	直	輸	会	心
学	念	一	目	散	入	者	立
文	記	合	道	歩	場	定	命
人	筆	行	知	理	料	離	令
内	鉛	色	音	信	着	発	文
案	具	道	財	家	産	財	化

答え 開花予想

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキに「答え」と住所・氏名をご記入の上
〒344-0055 春日部市八木崎町1-19 (株)コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係までコメントを添えてご応募ください。
3月28日消印有効(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。)



「祝!卒業!」



「おめでとう!」



「thank you」

イラスト:あやの

Cooking

チンゲンサイとアサリのペペロン蒸し

1人分100kcal 塩分1.4g ▷10分

●材料(2人分)

- チンゲンサイ.....300g
- アサリ(砂出ししたもの)....200g
- 赤唐辛子.....1本
- オリーブ油.....大さじ1
- ニンニク(みじん切り)....1片分
- 白ワイン.....大さじ3
- 塩.....ひとつまみ

【作り方】

- チンゲンサイは根元を切り落として長さを3等分に切る。赤唐辛子は種を取って小口切りにする。
- フライパンにオリーブ油とニンニク、赤唐辛子を中火で熱し、香りがたったらアサリを加え、さっと炒める。チンゲンサイを上から重ね、白ワインを加える。ふたをして5分ほどアサリが開くまで蒸す。塩を加えてさっと混ぜる。

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓

当店ご購入者様へ

便利なWEBサービスを開始しました! WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。

【PC/スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>

☆携帯の方はこちら

【空メール: y@asa-kowa.com】

※件名、本文は必要ありません。

※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。



石碑の傷も震災を伝える遺構です

朝日新聞気仙沼支局長 山浦 正敬

東京都内のチリ大使公邸を2月上旬、宮城県南三陸町の佐藤仁町長が訪ねました。直前にヘリコプター事故で死去した同国のセバスティアン・ピニェラ前大統領の弔問のためです。

「東日本大震災で町まで来てくれた方です。がれきの上にマイクを立て、町民を励ましてくれました」震災を経験した小さな町の首長として、能登半島地震の被災自治体の復興の行方が気になります。南米大陸の細長い国と東

北・三陸地方の小さな町と津波が襲ってききました。1960年5月のチリ地震津波で、国内で最大の被害を受けたのが同町でした。地球の反対側の地震なので地面は揺れません。静かに湾の水が引き、奥から津波が襲ってききました。41人が犠牲になりました。

そこらから復興を共に歩んだ証として1990年から町と国が友好を深め、翌年にチリ人彫刻家が制作したモアイ像が湾そばに設置されました。町のHPが経緯を解説します。その像は11年前の津波で壊れました。それを知った前大統領が震災1年後に町を訪れて宣言しました。「被災した像よりもっと壮大でもっと美しい像を贈りたい」

そうして新たに贈られた2代目と、がれきの下で発見された初代が昨夏、復興事業で整備された湾そばの公園に並びました。初代の像とともに設置されていた記念碑も並びます。ただ、どちらも傷だらけ。震災の津波でついさまま、あえて修復していません。

傷もまた、教訓を後世に伝える遺構なのです。

お便りコーナー

◆最近ミシンで小物をつくり暇な時間をりようしてありますが誰にあげようか悩んでいます。シーズンもリメイクで可愛い物ができます。YouTuberが大いに役立ちます。【大枝 S.Tさん】

◆毎日使っている水、電気、ガス。一月の地震で、こんなにも大変な事になるとは、思わなかった。世界では、戦争や災害で、日本もいつ石油やガスが止まるか、分らない。私達のくらしは、そんな不安定の中で続いてゆくのだらう。せめて、経済だけ追わず、地球や自然を第一にしたい。【大枝 Y.Nさん】

◆令和6年元旦に能登半島大地震は被害が多く、早期に復興を期待しています。当方が小学生の頃、今市地震があり、校舎は木造2階で、校庭に出たりしてました。住居も木造で大谷石で造った石倉に入ったりしました。栃木弁で、地震、雷、火事、おやしなどの言葉がありました。【大沼 N.Hさん】

◆梅の花も咲き、桜も、もう咲くかなあと思っていたらこの寒さ。でも春の足音が聞こえてきますね。【南 Y.Yさん】

◆2月というのに20℃の日があったり、5℃以下の日があったりで、体調をこころえが大変です。日本に四季がなくなり、二季になると話も聞きます。「四季の草花が咲き乱れ...」が古語になる日が本当に来るのでしょうか。そうならないよう、より一層地球環境に気を配ることが必要なのかな。【備後東 M.Yさん】

◆あちこちで河津桜の便りが聞こえて来ます。春と思いきや又、寒さが戻ってきます。今年こそよい年になってほしいです。2月号のパズル答え自信ありません。【粕壁 H.Tさん】

◆現場一期一会「災問」

人間は災害がいつくるか予想できません。自然災害に対し人間文明は脆いものです。それでも事前対策をして被害を少しでも、少なくするように努力しなければなりません。【栄町 K.Kさん】

◆今年は暖冬で身体的にはありがたかったです。2月20日を過ぎて、この先週間の天気予報が雨続きで最高気温が1ケタのよう。温かさに慣れてしまった体には「たえそつです。元気でいられるよう食事と睡眠に気をつけたいと思います。【一ノ割 T.Kさん】

◆季節を分けるという「節分」を過ぎると春めいてくる様だ。ウォーキングの途中で見かける梅や水仙の花も既に満開を過ぎて散り始めている。春はもうすぐそこに来ている。【備後西 Y.Tさん】

◆3人目、最後の受験が終わって無事合格が決まりました。肩の荷がおりた気もしますが、就職、結婚などいつまでも子供の心配は尽きないのかもしれない。【一ノ割 K.Yさん】